

## 鳴門教育大学大学院生が、ジャマイカの教員向け 算数教育ワークショップ(オンライン)を開催します。

国際協力機構（JICA）は徳島県の鳴門教育大学と連携し、同大学の現役大学院生によるジャマイカ国教育省向けの算数教育ワークショップをオンラインで開催します。

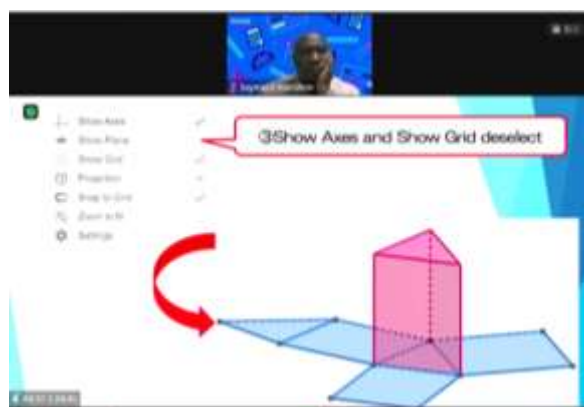
JICAは、2015年より鳴門教育大学と連携し、ジャマイカ国教育省に現役の大学院生を青年海外協力隊<sup>※1</sup>として派遣し、同国の教員に日本の算数教育指導法の紹介や、現地の小学校で算数の授業を実施し、算数教育の向上支援を行ってきましたが、コロナ感染拡大の影響を受け、昨年に続き代替策としてオンラインでのワークショップを行います。

当日は、学内で応募のあった7名の大学院生が、「小学校高学年以上向けのPPDACサイクル<sup>※2</sup>を使った統計学教育」と「数学学習・数学教育用の無料のデジタルツールGeoGebraを使ったの授業方法」に関してワークショップを開催します。

大学院生7名は、昨年の夏から、ジャマイカ国教育省職員であり教員である帰国留学生（2022年3月に同大学大学院を修了）にジャマイカの教育の現状や課題等を聞いたりして、どのようなワークショップがジャマイカの教員向けに良いかを考え、準備してきました。

With コロナの中、鳴門教育大学の教員、学生、そして帰国留学生が一緒になって取り組む、新しい国際協力活動をぜひ取材してください。

ジャマイカ国教育省や帰国留学生への取材も可能ですので、事前にご連絡ください。



ジャマイカ教育省との打ち合わせおよびリハーサル

## ワークショップ詳細

日時：2023年1月19日（木）AM5時～AM7時30分

内容：

「統計学教育」ワークショップ 大学院生グループ①

「GeoGebra」ワークショップ 大学院生グループ②

場所：オンラインおよび鳴門教育大学

※1 大学連携ボランティア派遣：特定の大学の専門性・知見を活用し、大学の組織的バックアップ（教官、委員会などの指導等）のもと、大学生、大学院生などを JICA 海外協力隊として派遣し、現地の課題解決のための活動を行います。

※2 課題解決のためのフレームワークの一つ。「Problem（問題）」「Plan（計画）」「Data（データ収集）」「Analysis（分析）」「Conclusion（結論）」の頭文字をつなげたもの。

ジャマイカと日本の時差で早朝での開催となりますが、積極的な取材をお待ちしております。なお、当日の参加が困難な場合でも鳴門教育大学や JICA 四国での取材も対応可能です。取材いただける場合には、事前に下記までご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 四国 担当：山科
TEL：087-821-8825 / E-mail:Yamashina.Emi2@jica.go.jp